



カザフスタン建築土木高等アカデミー バフティヤール・サブデナリエフ学長が都市工学部門を表敬訪問

【概要】

理工学部都市工学部門は、2026年6月17日（水）、学部間交流協定を締結しているカザフスタン建築土木高等アカデミー（KazGASA）より、バフティヤール・サブデナリエフ国際教育法人学長およびモルダムラトフ副学長の表敬訪問を受けました。

部門長の伊藤 幸広 教授、同法人と長年にわたり交流を続けている三島 伸雄 教授をはじめ、都市工学部門の教員が出席し、建築・土木分野に関わる学術交流について意見交換を行いました。また、地震国でもあるカザフスタンからは、防災に関わる研究への関心が示されました。今後、交換留学生の派遣・受入、共同研究の実施など、同アカデミーとのさらなる学術交流の発展が期待されます。

【本文】

理工学部都市工学部門は、2026年6月17日（水）、学部間交流協定を締結しているカザフスタン建築土木高等アカデミー（KazGASA）より、バフティヤール・サブデナリエフ国際教育法人学長およびモルダムラトフ副学長の表敬訪問を受けました。同部門からは、伊藤 幸広 部門長をはじめ、カザフスタン建築土木高等アカデミーとの窓口教員として長年にわたり留学生の受入れと指導に携わってきた三島 伸雄 教授のほか、押川 英夫 副部門長、大串 浩一郎 教授、後藤隆太郎 教授、ウォンタナーストーン・ナルモン 准教授、三島 悠一郎 准教授が出席し、今後の学術交流の発展について意見交換を行いました。

同法人は、カザフスタン建築土木高等アカデミーなどの大学を傘下に置く、アンブレラ方式の学校法人です。2013年から交流が始まり、2015年10月に都市工学部門との教育交流覚書、2017年7月に理工学部との学部間交流協定を締結し、現在に至っています。その間、建築に関する国際ワークショップでの学生の短期受入・派遣、交換留学による中期受入などを通じて交流を深めてきました。

意見交換では、サブデナリエフ学長から同国の国家目標に向けた本学との連携の重要性が語られ、交換留学の支援、共同審査学位などの国際共同教育プログラム、教員招聘など多角的な連携案が提案されました。そして、コンクリート工学や水理学・地盤工学分野および建築保全再生学・集落計画分野に関する研究成果等の紹介が行われ、耐震・防災・保全に関する具体的な取組について議論が深められました。特に、地震多発地域という共通の課題を背景に、構造物の安定性評価や洪水リスクへの対応、町並み保存などについて、強い関心が示されました。双方の研究知見を共有し、今後の共同研究の可能性を確認しました。

同アカデミーからは、今年度、水工学分野での交換留学生の受け入れが予定されています。これからの学術交流のさらなる発展が期待されます。



バフティヤール・サブデナリエフ国際教育法人学長との記念写真（理工学部4号館1階にて）
※左より、大串浩一郎教授，ウォンタナーストーン・ナルモン准教授，モルダムラトフ副学長，東出国際交流推進センター准教授，バフティヤール・サブデナリエフ国際教育法人学長，三島伸雄教授，伊藤幸広教授，後藤隆太郎教授，押川英夫教授，三島悠一郎准教授



都市工学部門教員との意見交換の様子